

# 進めています! 自己改革



今、私たちは、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、平成31年3月までに一定の成果を上げることを目指し、佐賀農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の計画をたて、組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見い出す協同組合としての自己改革を進めていきます。

JAからつが取り組む自己改革の一部を紹介します

## 畜産部編



### ● 改革取り組み事項

#### 1) 販売事業

- ① 生産性向上に向けた指導の強化  
(数値化による指導強化)
- ② 生産基盤の強化  
(各事業を利用した規模拡大の推進)
- ③ 新規繁殖事業の取り組みによる畜産振興  
(和牛子牛生産拡大のため、JAが新規で繁殖事業に取り組みます)  
和牛母牛150頭、F1母牛75頭規模で、子牛生産・繁殖母牛生産・和牛受精卵生産及び繁殖母牛預かり、後継者の育成・研修の受入を行い、唐津・玄海地域の畜産振興を図ります。

#### 2) 加工事業(堆肥センター) 施設集約による生産コストの低減

#### 3) 利用事業

- ① 家畜人工授精  
・ 受精卵移植頭数の拡大による収益確保  
和牛受精卵移植は酪農家メインで実施をしています。生授精卵を使用しているため受胎率も70%程度と高い状況にあり、今後、生まれた子牛はキャトルステーションに受け入れ、キャトルステーションの委託頭数の確保もできています。販売を迎えると、農家の所得向上となります。酪農家には、後継牛確保のため雌精液の利用と併せて計画的な受精卵の利用を進めます。繁殖農家へは、長期間不受胎牛及び高齢牛に受精卵利用を推進し、分娩間隔の短縮、廃用牛の高値販売に繋げ、農家の所得向上に繋がります。

#### ② 家畜診療所

- ・ 技術料収益の増加(子牛検査及び去勢料)  
キャトルステーション施設増設による委託頭数の増加に伴い、子牛検査時の注射技術料と去勢技術料を増加します。

#### ③ キャトルステーション

- ・ 施設整備に伴う委託頭数の拡大  
馴致牛舎・育成牛舎増設による委託頭数の確保は、酪農家への和牛受精卵移植、一貫・繁殖農家の規模拡大による増頭分をキャトルステーションに受け入れます。
- ・ 優良子牛の生産  
新技術及び優良事例等の情報など収集に努め、常に飼養管理マニュアル、飼料給与と体系等の見直しをリアルタイムで行い、発育の良い優良子牛生産を行います(市場評価の向上)。
- ・ 事故率の低減  
死亡率・治療率の低減の為、受け入れ子牛の健康チェック徹底、センター内の疾病拡大防止の予防、獣医師による早期治療に努めます。

